

取扱説明書

このたびはサカホ式呼吸用保護具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

業務用

本製品は業務用ですので、労働安全衛生及び呼吸用保護具の十分な知識を有する方が使用するか、または十分な知識を有する方の指導の下で使用してください。

電動ファン付き呼吸用保護具

サカホ式 BL-700 シリーズ

対象製品

〈型式名称〉

BL-700U-03

BL-700HA-03

〈国家検定合格〉

第 TP21 号

第 TP20 号

使用目的

本製品は、空気中に浮遊する粉じんをろ過した清浄空気をマスクに内蔵した電動ファンにより供給し、呼吸による粉じんのばく露を防ぐための電動ファン付き呼吸用保護具です。

特長

本製品はマスクに内蔵された電動ファンにより、空気中に浮遊している粉じんをろ過した清浄空気を供給する方式の電動ファン付き呼吸用保護具です。電動ファンで呼吸に適した量の送風を行うため呼吸が楽になります。また、本製品は次のような優れた特長があります。

1. 呼吸追従方式（ブレスレスポンス方式）

BSFS（Breath-Synchronized Air Flow System）機構

- (1) 呼吸量に合わせて送風を行うことで、滑らかで自然な呼吸を行います。
- (2) ろ過材へのムダな粉じん堆積を抑制します。
- (3) 排気時にはファンの回転を制御するため、電力消費を大幅に低減します。

2. 全面形面体

- (1) 会話可能な伝声器付です。
- (2) ろ過材の交換が容易なワンタッチ取付け機構を採用しています。
- (3) マスクを装着した上から、ヘルメットの装着が可能です。

3. 電圧低下警報装置付き 注1

電圧が低下したことを自動的に検知し、ランプの点灯で警報します。

4. ろ過材交換警報装置付き 注2

ろ過材の交換時期を検知し、ランプの点滅によって警報します。

5. ファンユニット着脱機能付き

左右2ヶ所のスライドラッチを開閉する事により、ファンユニットを着脱することができます。

安全に正しくご使用いただくために

この取扱説明書は、安全上重要な内容に△危険、△警告、△注意を記載しています。以下が定義ですので、内容をよく理解したうえ、本文をお読みください。

△危険…記述内容に従った操作や処理を守らないと**生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性が高いこと**を意味します。

△警告…記述内容に従った操作や処理を守らないと**生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性があること**を意味します。

△注意…記述内容に従った操作や処理を守らないと**身体に軽微な被害または物損事故をおこすおそれがあること**を意味します。

注1、2 警報を発するまでの時間は、呼吸量、粉じんの発生量などによって異なります。



危険

- ・酸素欠乏環境（酸素濃度 18%未満）では使用できません。
- ・本製品は粉じん環境用です。有毒ガスが存在する環境では使用できません。

目 次

使用環境について	2 ページ
構造及び各部の名称	
主要部品の名称と役割	3 ページ
性能及び仕様	4 ページ
ご使用になる前に	5 ページ
使用前点検	5～7 ページ
使用方法	
1. 各部の接続と装着のしかた	8～11 ページ
(1) ファンユニット部の取付け	8 ページ
(2) ファンユニット部の取りはずし	8 ページ
(3) ろ過材の取付け（取りはずし）	8 ページ
(4) 電池の装填	9 ページ
(5) マスク部の装着のしかた	9～10 ページ
(6) 電源コード	10 ページ
(7) マスク部とバッテリーケースの接続	10 ページ
(8) 「シールチェック（フィットチェック）」のしかた	10～11 ページ
2. 使用上の注意事項	11 ページ
3. マスクの取りはずしかた	11 ページ
保守管理について	
1. お手入れのしかた	12 ページ
2. 電池の充電のしかた	13 ページ
3. 部品の交換のしかた	13～14 ページ
4. 保管のしかた	15 ページ
故障かな？と思ったら	15 ページ
交換用部品について	16 ページ
オプション（別売）品について	16 ページ

使用環境について

○使用可能な作業環境

粉じん、ほこり、溶接ヒューム等が発生しており、酸素濃度が18%以上、かつ有毒ガスが存在せず、5～40℃の温度環境。

例) 石綿除去作業、鉱物性粉じん、粉体原料、土石粉じん、溶接ヒューム、ほこり作業、研磨作業など

BL-700HA・・・石綿除去作業対応（アルファリングフィルタ BRD-7 使用）

BL-700U・・・ナノマテリアル使用環境対応（アルファリングフィルタ BRD-8U 使用）

×使用に適さない環境

下記の危険・警告・注意欄をご覧ください。

△危険

- 酸素欠乏環境（酸素濃度が18%未満）、酸素濃度が不明、又は有毒ガス環境では、絶対に使用しないでください。酸素欠乏・ガス中毒のため、死亡もしくは急性障害などになります。このような環境では送気マスク等をご使用ください。
- 「ダイオキシン類のばく露のおそれがある作業（レベル1を除く）」、「これらに準ずる作業」では使用できません。
- 火花の発生により爆発する可能性のある粉じん環境・可燃性ガス環境では使用しないでください。電池の使用により火花が発生し、爆発するおそれがあります。
- 雷管取扱作業を行う場合は必ず本製品のバッテリーケース（電池）を取りはずしてご使用ください。バッテリーケース（電池含む）は、漏電等による爆発のおそれのない安全な場所で取りはずして保管してください。

△警告

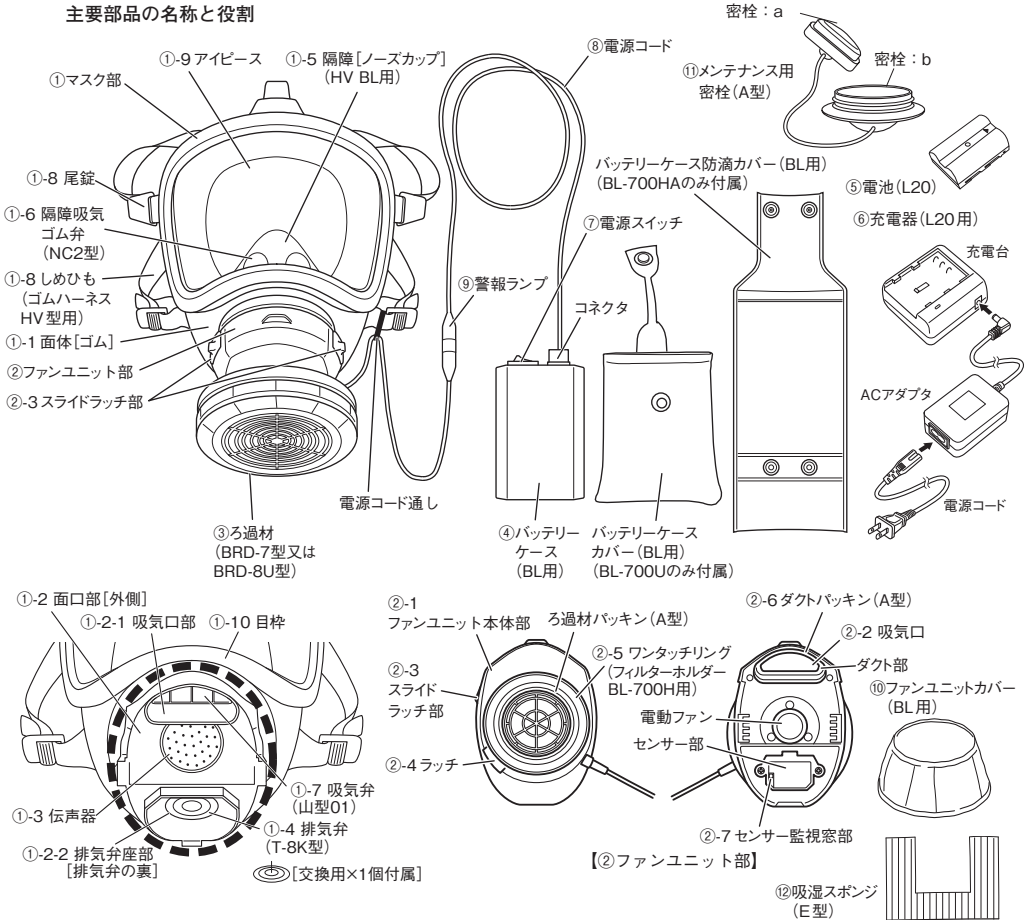
- 環境温度が5℃から40℃の範囲で使用してください。また、輻射熱が存在する環境では耐熱対策を行ってください。部品の動作不良が生じ、粉じんが漏れ込むおそれがあります。また、電池の劣化や誤作動の原因になります。
- 溶接作業や研磨作業などの際に、スパッタや火花などが発生する場合は、吸気口キャップ（別売）を必ずろ過材に取り付けてご使用ください。吸気口からのスパッタや火花などの侵入を低減する効果があります。吸気口からスパッタや火花などが侵入すると、ろ過材が破損するおそれがあります。
- ガウジング作業などの際に、スパッタや大量の火の粉が発生する場合は、本製品を使用しないでください。

△注意

- マスク内部やバッテリーケース内部に水等の液体が浸入する場所や湿度が高くなる状態では使用しないでください。回路がショートするおそれがあります。液体や湿度の影響が考えられる環境下で使用する場合は、バッテリーケース防滴カバー（BL-700HA付属品）を使用してください。
- 電動ファンが停止した場合、速やかに有害物質などのない安全な場所に移動してください。

構造及び各部の名称

主要部品の名称と役割



- ①面体部……………有害物質から目と呼吸を保護します。面体に着脱式の電動ファン(ファンユニット部)を装備します。
- ②ファンユニット部……………電動ファンで清浄空気を面体に送風します。
着脱式ですので面体からはずしメンテナンス用密栓を使用することで洗浄することが出来ます。
- ③ろ過材……………アルファリングフィルタを使用し、粉じんをろ過します。
必ず製品に対応する専用ろ過材をご使用ください。

—マスク名称—	—専用ろ過材—
BL-700U	BRD-8U型
BL-700HA	BRD-7型
- ④バッテリーケース……………専用の電池を1個格納します。胸ポケットに入る軽量・小型タイプ。また、付属品のバッテリーケースカバーやバッテリーケース防滴カバーを使用して腰ベルトに装着が可能です。
- ⑤電池……………専用のリチウムイオン電池1個を使用。充電して繰り返し使用できます。
- ⑥充電器……………専用の電池を使用する際に使用します。
- ⑦電源スイッチ……………電源のON/OFFを切り替えます。
- ⑧電源コード……………バッテリーケースからファンユニットに電力を供給します。
- ⑨警報ランプ……………電圧の低下(充電時期)をランプの点灯によって警報します。
(電圧低下/ろ過材交換)
 - ろ過材の交換時期をランプの点滅によって警報[®]します。
 - ※弊社の試験規格に基づいて設定しています。目安とお考えください。
- ⑩ファンユニットカバー……………粉じん量が多い場合や飛散防止剤からファンユニットを保護するために使用します。使い捨てタイプです。
- ⑪メンテナンス用密栓 A型……………ファンユニットを水洗いする時に使用します。
- ⑫吸湿用スポンジ……………面体内部に挿入して使用する使い捨てタイプの吸湿材です。

性能及び仕様

形式名称	BL-700U-03	BL-700HA-03	
国家検定合格	第TP21号	第TP20号	
使用ろ過材	BRD-8U	BRD-7	
種類	直結式面体形（全面面体）		
電動ファンの性能	大風量形		
漏れ率	S級		
ろ過材の性能	PL3		
指定防護係数	1,000		
社内基準値	粒子捕集効率	99.99%以上	99.97%以上
	漏れ率	0.1%以下	
	面体内圧	0～400Pa	
	吸気抵抗	130Pa以下	
	排気抵抗	60Pa以下	
	二酸化炭素濃度上昇値	2.0%以下	
	質量	774g以下	
	公称稼働時間 ^{*1}	約7.5時間	
実勢稼働時間 ^{*2}	約8～14.5時間		
電池	専用リチウムイオン二次電池 定格電圧：7.2V 定格容量：2000mAh)		
充電可能回数	約300回 ^{*3}		
充電時間	約3時間 ^{*3}		
電動ファンの耐久時間	約2,000時間 ^{*3}		

※1 大風量形の呼吸条件において、通常の室内で面体内圧が陽圧を維持できる時間(国家検定規格)

※2 実作業中の作業者の呼吸データを用いて、粉じん環境下で面体内圧が陽圧を維持できる時間

※3 使用状況により短くなる場合があります。

警報ランプ

- 面体内圧を監視し、面体内圧が低下した場合に点滅を始めます。一時的な低下は点滅が止まりますが、継続した低下は点滅が早まり、電源スイッチを切るまで点滅し続けます。(早い点滅の場合には、安全な場所で新しいろ過材と交換してください)
- 電圧が低下した場合、点灯します。(安全な場所で電池を充電するか、充電済みの電池に交換してください)

警報ランプの作動

点滅	遅い点滅 2秒に1回点滅 (1秒点灯・1秒消灯を繰り返す)	一時的に面体内圧が低下した場合に点滅します。 面体内圧の低下が継続しなければ警報ランプは消灯します。
	早い点滅 0.5秒に1回点滅 (0.25秒毎に点灯・消灯を繰り返す)	面体内圧の低下が一定時間続いた場合には点滅が早くなります。 ろ過材交換の目安となります。※

※排気弁が汚れると、警報ランプが点滅する場合があります。排気弁を清掃してください。

点灯	1秒間点灯	電源をONにした直後、1秒間だけ点灯します。点灯しない場合は修理を依頼してください。
	継続点灯	電池の電圧が低下した場合点灯します。充電するか充電済みの電池に交換してください。

◎警報ランプは、マスクを装着して電源をONにした時（使用状態）のろ過材の交換時期及び電圧の低下（充電時期）について警報するものです。

◎マスクを装着せずに電源をONにした場合、面体内圧の状態を正しく感知できません。この場合、ランプの点滅、点灯などは警報機能によるものではありませんので、装着をした状態で再度ご確認ください。

ご使用になる前に

ご使用になる際は、必ず<使用前点検(5～7ページ)><各部の接続と装着方法(8～11ページ)>の順番通りに行ってください。また、<使用上の注意事項(11ページ)>の内容をよくお読みになり、安全にご使用ください。

使用前点検

安全のため、使用前点検は必ず行ってください。

警告

●使用前に必ず下表の点検項目を点検し、異常があった場合はそのまま使用せず、異常時の処置を行ってください。

- ◎点検は粉じんや有毒ガスなどが無い、安全な場所で行ってください。
- ◎修理及び部品の交換についてはお買いあげの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- ◎点検方法や異常時の処置は<保守管理について(12～15ページ)>を参照してください。
- ◎破損の程度によっては修理が不可能な場合がありますのでご了承ください。

点検順序	点検項目(箇所)	点検方法	判定基準	異常時の処置	
1	①面体部	①-1 面体 (ゴム)	目視。		●マスクを新品と交換してください。 ●粉じんや著しい汚れの付着は清掃する。
		①-2 面口部 (外側)	目視。 ファンユニットをはずして確認する。	●ひび割れや亀裂、変形、キズなどの破損、粉じんや著しい汚れの付着がないこと。 ●伝声器や排気弁がきちんと取付けられていること。	
			目視。 隔障をはずして確認する。	●ひび割れや亀裂、変形、キズなどの破損、粉じんや著しい汚れの付着がないこと。 ●伝声器や排気弁がきちんと取付けられていること。 ●隔障が正しく取付けられていること。	●キズなどの破損がある場合や、伝声器に破損や欠損がある場合は修理の依頼をする。 ●粉じんや著しい汚れ、異物の付着は清掃する。 ●排気弁や吸気弁を正しく取付けする。 ●隔障を正しく取付けする
		①-2-1 吸気口部	目視。	●ひび割れや亀裂、変形、キズなどの破損、粉じんや著しい汚れの付着がないこと。	
		①-2-2 排気弁座部	目視。	●亀裂、変形、キズなどの破損、粉じんや著しい汚れ、異物の付着がないこと。	
		①-3 伝声器	目視。	●伝声器部のつぶれや内部に穴などの破損がないこと。 ●粉じんや著しい汚れの付着がないこと。	
		①-4 排気弁	目視。	●新品または清掃済の排気弁と交換されていること。 ●ひび割れや亀裂、変形、キズなどの破損、粉じんや著しい汚れ、異物の付着がないこと。	●新品または清掃済の排気弁を取付ける。 ●キズなどの破損がある場合は排気弁を交換する。 ●粉じんや著しい汚れ、異物の付着は清掃する。
		①-5 隔障 ①-6 隔障 吸気弁 ①-7 吸気弁	目視。	●ひび割れや亀裂、変形、キズなどの破損、ゴムの劣化によるべとつき、粉じんや著しい汚れの付着がないこと。 ●隔障に隔障吸気弁が正しく取付けされていること。	●粉じんや著しい汚れの付着は清掃する。 ●それ以外は部品を正しく取付けする。
		①-8 しめひも 及び 尾錠	目視。	●十分な弾力、強度があり、ひび割れ、亀裂、劣化によるべとつきなどの破損がないこと。	●しめひもの破損がある場合は交換する。 ●尾錠の破損がある場合はマスク部を交換する。
		①-9 アイピース	目視。	●亀裂、ひび割れ、穴、視界を妨げるキズなどの破損、粉じんや著しい汚れの付着がないこと。	●修理を依頼、または面体を交換する。 ●粉じんや著しい汚れの付着は清掃する。
①-10 目枠	目視。	●アイピースが確実に接続されていること。 ●ひび割れや亀裂、変形、キズなどの破損、粉じんや著しい汚れの付着がないこと。	●アイピースが確実に接続されていない場合は、面体を交換する。 ●キズなどの破損がある場合は面体を交換する。 ●粉じんや著しい汚れの付着は清掃する。		

使用前点検

安全のため、使用前点検は必ず行ってください。

点検順序	点検項目(箇所)	点検方法	判定基準	異常時の処置	
2	②ファンユニット部	②-1 ファンユニット本体部	目視。 面体部からファンユニットをはずして確認する。	●粉じんや著しい汚れの付着などがないこと。 ●亀裂などの破損がないこと。 ●ファン等に異物が入り込んでいないこと。	●表面、内側に付着した粉じんや著しい汚れは清掃する。 ※清掃方法 11 ページ ●破損がある場合は修理の依頼をする。 ●異物をとりのぞく。
		②-2 吸気口	目視。 面体部からファンユニットをはずして確認する。	●吸気口の内面に粉じんや著しい汚れの付着などがないこと。 ●亀裂などの破損がないこと。	●粉じんや著しい汚れがある場合は清掃する。 ●破損がある場合は修理の依頼をする。
		②-3 スライドラッチ部	目視。 (面体部含む) 8 ページ参照	●粉じんや著しい汚れの付着などがないこと。 ●無理なく動き、容易にファンユニットが着脱できること。また、確実にファンユニットが固定できること。	●表面、凹部に付着した粉じんや著しい汚れは清掃する。 ●ラッチの動作に異常や破損がある場合は修理の依頼をする。
		②-4 ラッチ部	目視。 ろ過材を取り付ける。※1	●粉じんや著しい汚れの付着などがないこと。 ●無理なく動き、ろ過材を取り付ける際にラッチが確実に戻ること。	●表面、凹部に付着した粉じんや著しい汚れは清掃する。 ●ラッチの動作に異常や破損がある場合は修理の依頼をする。
		②-5 ワンタッチリング	目視。	●粉じんや著しい汚れの付着などがないこと。 ●リングとファンユニット部の▼マークの位置が合っていること。 ●緩みなくついていること。	●表面、凹部に付着した粉じんや著しい汚れは清掃する。 ●確実に締め付ける。 ●締め付けられない場合は、部品を交換する。
		②-6 ダクトパッキン	目視。 面体部からファンユニットをはずして確認する。 交換の記録。	●粉じんや著しい汚れ、異物の付着などがないこと。 ●破れ、亀裂などの破損がないこと。 ●前回の交換(または購入時)から6ヶ月経過していないこと。	●粉じんや著しい汚れ、異物の付着は清掃する。 ●破損がある場合は新品に交換する。 ●新しいダクトパッキンと交換する。
		②-7 センサー監視窓部	目視。 面体部からファンユニットをはずして確認する。	●汚れや異物の付着がないこと。	●表面の汚れや異物は清掃する。 ※清掃方法 15 ページ
3	④バッテリーケース	目視。	●著しい汚れがないこと。 ●ひび割れや亀裂などの破損がないこと。 ●ジャック、ナットの欠落がないこと。	●著しい汚れは清掃する。 ●破損、ジャック、ナットの欠落のある場合は交換の依頼をする。	
	⑦電源コード	目視。	●プラグ、ロックナットに水分の付着のないこと。 ●粉じんや著しい汚れの付着がないこと。 ●ひび割れや亀裂などの破損がないこと。	●プラグ、ロックナットに付着した水分はよく拭き取る。 ●粉じんや著しい汚れは清掃する。 ●破損がある場合は修理の依頼をする。	
4	⑤電池 ⑥電源スイッチ ⑧警報ランプ	目視。 バッテリーケースに装填し、電源コードのコネクタをバッテリーケースに継ぎ、電源スイッチを入れる。	●外観に破損等がないこと。 ●液もれや変色・変形がないこと。 ●マスクから空気が流れていること。 ●電動ファンが作動すること。 ●警報ランプが1秒間点灯し、すぐに消えること。	●破損がある場合は電池を交換する。 ●充電されていない場合は充電する。 充電しても電動ファンが動かなかったり、電動ファンの運転時間が著しく短くなった場合は電池の劣化、寿命であるため新しい電池と交換する。 新しい電池と交換した後も、改善されない場合は、修理を依頼する。 ●警報ランプが点灯しない場合は、修理を依頼する。	

※1 〈各部の接続と装着方法(8~11ページ)〉を参照してください。

使用前点検

安全のため、使用前点検は必ず行ってください。

点検順序	点検項目(箇所)	点検方法	判定基準	異常時の処置
5	電動ファンの 作動点検	マスクを装着し、 電源スイッチを 入れる。※2 (ろ過材が取り 付いた状態)	<ul style="list-style-type: none"> ●ファンから異音が生じないこと。 ●呼吸に追従して送風されること。 (吸気時に送風量が多くなり、排気時や息を止めている時に送風量が抑えられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ファンから異音が生ずる場合は、マスクを新品に交換する。 ●送風が行われない場合、マスクとバッテリーケースを20～30℃の環境に移動させ30分程度放置してから再度点検する。また、電池を充電したものに交換するか、電池を充電する。それでも動かない場合は修理の依頼をする。 ●呼吸に追従して送風されない場合は、排気弁(表裏共に)やセンサー監視窓に、粉じんや汚れ等が付着していないことを確認する。 →本製品を正しくお使いいただくために(15ページ)を参照ください。 それでも追従しない場合は、修理を依頼する。
	使用前の風量確認 (面体内圧の確認)		<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチを入れた直後、警報ランプが1秒だけ点灯し、1分間経過後に点灯・点滅しないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ●警報ランプが点灯した場合は、電池を充電したものに交換するか、電池を充電する。 ●警報ランプが点滅をした場合は、ろ過材を新しいものに交換する。 →警報ランプの作動 4ページ
6	③ろ過材	目視。 ろ過材を軽く 引っ張る。※1	<ul style="list-style-type: none"> ●ひび割れや亀裂、変形などの破損やキズがないこと。 ●しっかり取り付いていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ろ過材が正しく取り付けられていない場合は、ろ過材を正しく付け直す。 ●ろ過材に破損やキズがある場合、警報ランプが早い点滅する場合は、ろ過材を交換する。
7	充電器	目視。	<ul style="list-style-type: none"> ●ひび割れ、亀裂、変形などの破損やキズがないこと。 ●電源プラグ、端子に水滴、汚れ、ほこり等が付着していないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ●破損、端子の欠落のある場合は、新品に交換する。 ●水滴、汚れは乾いた布で完全に拭き取り、ほこりは清掃して取り除く。
8	結合状態	目視。	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての部品が欠損なくセットされていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ●欠損等がある場合は部品を交換するか修理を依頼する。

※1 〈各部の接続と装着方法(8～11ページ)を参照してください。〉

※2 バッテリーケースに充電済みの電池を装填してください。

⚠警告

- 面体内部に粉じんが付着していないことを必ず確認してください。
面体の内側に付着した粉じんを吸入し、身体に異常をきたすおそれがあります。

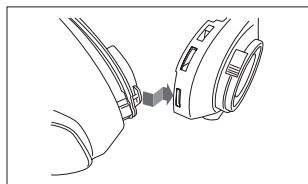
⚠注意

- 本製品は精密な電子部品を内蔵しています。ご使用30分前には20～30℃の環境下に移し、結露の発生しない状態を確認してからお使いください。20℃未満の環境に保管等されていた場合、結露によりセンサーが作動しない可能性があります。
バッテリーケースの電源をONにしても、電動ファンが作動しない場合があります。
- ご使用前に、排気弁(裏側も同様)に粉じんや汚れ等が付着していないことを必ず確認してください。
センサーの作動に影響を及ぼし、ファンが作動しないおそれがあります。
- 放射性物質や石綿除去作業、ダイオキシン類対策で使用した製品の修理はお受けすることができません。

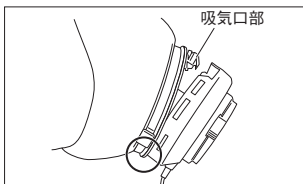
使用方法

1. 各部の接続と装着のしかた — 下記の手順で取付け、取りはずしを行ってください。また、有害物質などがない安全な場所で行ってください。 —

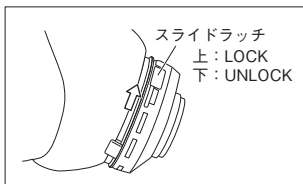
(1) ファンユニット部の取付け



① ガイドピンにファンユニット部の受け部を引っ掛けてください。



② 面体の吸気口部にファンユニット部のダクト部を挿入し、ファンユニット本体部を面体に押し込んでください。



③ スライドラッチを左右とも上方 (UNLOCK から LOCK) にスライドさせ、ファンユニット部を面体に固定してください。

④ ファンユニット部を軽く引っ張り確実に面体に固定されていることを確認してください。

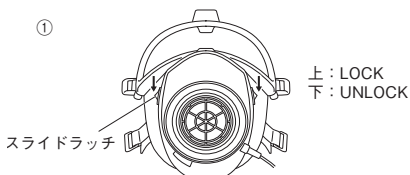
⑤ 電源コードを面体部の電源コード通しに通してください。

(2) ファンユニット部の取りはずし

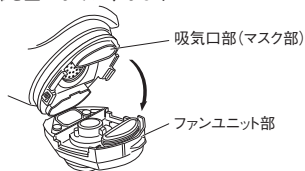
ファンユニット部の取りはずしは、あらかじめろ過材をはずした状態で行います。

<(3)ろ過材の取付け (取りはずし)>に従って行ってください。

- ① 電源コードをマスク部の電源コード通しからはずしてください。
- ② スライドラッチを左右とも下方の「UNLOCK」にスライドさせてください。
- ③ マスク部を上、ファンユニット部を下にしてゆっくりとマスク部からファンユニット部をはずしてください。



②面体部を上にしてはずします

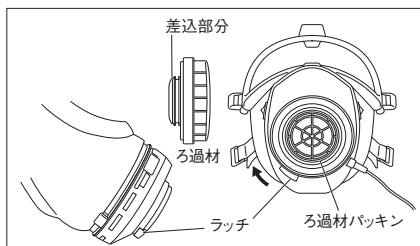


警告

- 製品に付着している粉じんが飛散して吸気口部等に付着しないよう、必ず面体部を上にして行ってください。
- ファンユニット部をはずす際は、付着した粉じんが飛散しないようにゆっくりと行ってください。
- 飛散した粉じんが面体部の吸気口部に付着した場合は、
<1. お手入れのしかた (12 ページ)>に従って必ず清掃してください。
付着した粉じんを吸入してしまうおそれがあります。

(3) ろ過材の取付け (取りはずし)

- ① ろ過材をはずす場合は、ろ過材パッキンの下側にある取りはずし用ラッチを矢印の方向にスライドさせて古いろ過材をはずしてください。(ろ過材に付着した粉じんが飛散して、面体部等にかからないように注意して行ってください。)
- ② ろ過材の差込部分に歪みやキズ等の破損がないことを確認してください。
- ③ 新しいろ過材をカチッと音がして、ラッチが元の位置に戻るまで確実に押し込んでください。ろ過材パッキンに正面からしっかり取り付けてください。
- ④ ろ過材を軽く引いて確実に取り付いたことを確認してください。



警告

- 放射性物質、アスベスト (石綿)、ヒ素、クロム等の有害性が高い粉じんに対して使用したろ過材は再使用しないでください。(1 回ごとに廃棄してください。)
- ろ過材は絶対に水洗いしないでください。
- ろ過材を取りはずす際は、付着した粉じんが飛散しないようにゆっくりと行ってください。

注意

- ラッチが正しく動き、ろ過材を取り付けた後に確実に元の状態に戻ることを確認してください。ラッチに不具合があると、ろ過材がはずれたり粉じんなどが漏れ込むおそれがあります。

※使用済みのろ過材は、付着した粉じんが再飛散しないように容器または袋に詰めた状態で適切な廃棄処理をしてください。

使用方法

(4) 電池の装填

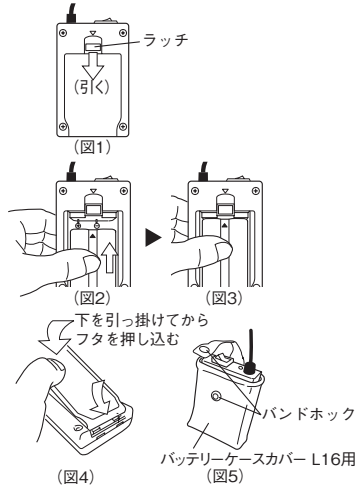
はじめてご使用になる電池は満充電の状態ではありません。
必ず充電を行ってからご使用ください。

- ① ラッチを引き、電池フタを開けてください。(図1)
- ② 図を参照し、電池の▲マークが必ず上になるように電池を挿入します。(図2)
- ③ 電池を上にはスライドさせ、仮固定してください。(図3)
- ④ フタの下側の突起をバッテリーケース本体の穴に合わせてから電池フタを押し込んでラッチが引っ掛かるように閉めてください。(図4)
- ⑤ バッテリーケースカバーを使用する場合は、バッテリーケースをバッテリーケースカバーに入れてカバーのバンドホックを留めてください。(図5)

●はじめてのご使用や長期間使用していない場合は、充電が十分に行えないことがあります。その場合は2～3回充放電を繰り返して電池を活性化させてからご使用ください。また、充電を行う際は、十分に放電している状態で行ってください。

●電動ファンの運転時間が著しく短くなった場合は電池の劣化が寿命です。新しい電池と取り替えてください。

●新しい電池と交換しても改善されない場合は、修理を依頼してください。



警告

- 警報ランプが点灯した場合は、電池を充電したものに交換するか電池を充電してください。
- 警報ランプが早い点滅をした場合は、ろ過材を新品のものに交換してください。
- 警報ランプが早い点滅をしファンが回り放しになった場合は、排気弁を清掃してください。
- 電池の表面の汚れや異物の付着は、完全に清掃してください。

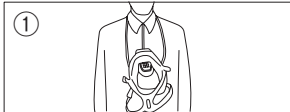
注意

- 電池及び、バッテリーケースの分解、改造、加熱及び火中・水中への投入をしないでください。特に端子部分は濡らさないでください。
また、落としたり大きな衝撃を与えたりしないでください。
危険防止用の安全機構や安全装置が損傷し、発火、破裂、液漏れの原因となります。
- 濡れた手で電池の出し入れ、スイッチ操作をしないでください。
感電、バッテリーケース及び電動ファンの故障の原因となります。
- 電源スイッチの切り忘れにご注意ください。使用後は電池を電池ケースから取りはずしてください。
発熱、発火の原因となります。
- リチウムイオン充電電池は、専用の「充電電池L20」をご使用ください。
「充電電池L20」以外の電池を使用すると電動ファンが正しく作動しません。また電動ファンの故障の原因となります。
- 電源コードを引っ張ったり、持って振り回したり、突起物などに引っかかないようにしてください。
マスク、バッテリーケースからコードが抜けて破損または断線してしまうおそれがあります。

(5) マスク部の装着のしかた — 安全区域内でバッテリーに接続しない状態で装着してください。 —

<使用前点検 (5～7ページ)><ろ過材の取付け (8ページ)、バッテリーケースへの電池の装填 (9ページ)>を終了してから次の手順で装着してください。

- ① 面体の首掛けひもを首にかけてください。
- ② しめひもを全部緩めてください。尾錠を起こしながらしめひもを引っ張ると緩みます。
- ③ 緩めたしめひもをアイピース側に裏返してください。



- ④ 前髪を持ち上げ、面体をあごの部分より合わせて顔にあててください。
※髪の毛が面体と顔の間にはさまらないように注意してください。



- ⑤ しめひもを後頭部に戻してください。
- ⑥ しめひもの先端を下から順番に左右均等に締め付けてください。



- ⑦ 装着が完了したら、必ず「シールチェック (フィットチェック)」を行ってください。
- ⑧ はずす場合は、尾錠を起こし、しめひもを緩めてはってください。



使用方法

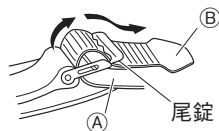
△注意

- しめひもの長さが合わない場合は、<しめひもの調節>の項目に従って長さを調節してください。
- しめひもが十分に弾力を持ち、締め付けに必要な強度があることを確認してください。
- しめひもを強く締めすぎるとフィット感が悪くなったり、長時間の作業では不快になったりするのでご注意ください。

マスクと顔の間にすき間なく装着できるように、また過度に圧迫されないようにしめひもの長さを調節してください。しめひもは尾錠で調節します。

しめひもの調節は次の手順で行ってください。

- ①しめひもを緩める場合は、尾錠を起し、Aの部分を引きください。
- ②装着時はBの部分まっすぐに引いてください。しめひもが締まります。



△警告

- しめひもは左右均等の長さで装着してください。
正しくマスクが装着できず、顔にきちんと密着しないおそれがあります。
- 伝声器内部を傷つけないでください。
伝声器が破損し、粉じんが漏れ込み、吸入してしまいます。
- タオルなどを顔にあてた上から装着しないでください。
粉じんが面体内へ漏れ込む原因となります。
- アレルギー体質の方や肌の弱い方は、マスクの使用により肌荒れや湿疹などを起こすことがあります。また、汗や粉じん、面体の汚れなどの影響によりそれらの症状が現れることがあります。その場合は使用を中止し、医師にご相談ください。

(6) 電源コード

マスクを装着し、電源コードを接続した後にコードがじゃまにならないよう、警報ランプが目視できる位置になる様に電源コードの長さを調節してください。

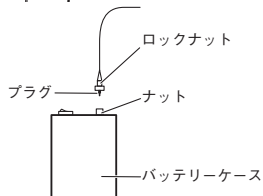
△警告

- 電源コードは必ず電源コード通しを通してください。
断線してしまうおそれがあります。



(7) マスク部とバッテリーケースの接続

- ① マスク側の電源コードのコネクタやバッテリーケースのコネクタに汚れ、水分等の付着がないことを確認してください。
- ② <マスクの装着のしかた (9 ページ)>に従ってマスク装着後、マスク側電源コードのコネクタ (プラグ) をバッテリーケース側のコネクタ (ジャック) に合わせパチンと音がして止まるまで確実に押し込んでください。バッテリーケース側のロックナットを時計回りに止まるまで回転させ、電源コードをバッテリーケースのコネクタに固定します。この時、各先端を少し引っ張り、ロックされたことを確認してください。



△注意

- 電源コードを引っ張る、持って振り回す、突起物などに引っかけるなどしないでください。
装着していた場合は接頭部 (面体) がずれてすき間が生じ、面体内に粉じんが漏れ込むおそれがあります。また、中継コネクタの破損やコードが抜けたり断線したりするおそれがあります。
- バッテリー側のコネクタは接続後、ロックナットを回転させてしっかりとロックしてください。
- 石綿除去作業で使用する場合は、バッテリーケース防滴カバー (BL-700HA付属品) を使用してください。

(8) 「シールチェック (フィットチェック)」のしかた — シールチェック (フィットチェック) は、有害物質などのない安全な場所で行ってください。 —

接頭部分からの漏れ込みを調べ、密着性の良否を確認するために、ご使用の都度必ず行ってください。(バッテリーケースの電源スイッチはOFFの状態で行ってください。)

- ①「フィットテスター (別売)」をろ過材にかぶせてください。
- ②息を吸い込み、面体が顔に吸いつくように感じられれば密着は良好です。
- ③面体と顔の間から空気の漏れ込みを感じたらフィットテスターをはずし、その後顔からマスクをはずしてください。排気弁を中心に各部の再点検を行ってください。しめひもの調節、マスクを適切な位置に調節などを行い、再度①②を繰り返してください。
- ④密着性の確認ができましたら必ずフィットテスターをはずし、電源コードの接続状態を確認し、バッテリーケースの電源スイッチをONにしてから作業を開始してください。

△警告

- シールチェック (フィットチェック) は使用前に必ず行ってください。
正しく装着されていないと、作業中に送風量が低下したときに顔と接頭部 (面体) のすき間などから面体内に粉じんなどが侵入するおそれがあります。

使用方法

△注意

- フィットテスターをかぶせた状態で電源スイッチを入れないでください。
故障、破損の原因となります。

2. 使用上の注意事項

使用の都度、必ず<使用前点検(5～7ページ)>に従い、点検をして異常がないことを確認してください。

△危険

- 改造や交換可能箇所以外を分解したり、落とすなど強い衝撃を与えないでください。
精密な部品を内蔵しているため、故障、破損の原因となります。修理は弊社または販売店にご相談ください。
- 作業中、次のことがあった場合、ただちに安全区域内に退避し、各部の点検を行い、問題が解決するまで使用しないでください。
 - ・送風量の低下
 - ・呼吸することが著しく苦しく感じられること
 - ・電動ファンが停止すること
 - ・警報ランプの点灯や点滅
 - ・呼吸する空気の異常な温度上昇(下降)
 - ・その他異常と感じられること
- 破裂等の原因となりますので、火中への投入はしないでください。

△警告

- 電源コードを引っ張る、持って振り回す、突起物などに引っかけるなどしないでください。
装着している場合は接頭部(面体)がずれてすき間が生じ、面体内に粉じんが漏れ込むおそれがあります。また、中継コネクタの破損やコードが抜けたり断線したりするおそれがあります。
- 電源がOFFのまま使用しないでください。
- 溶接作業など、スパッタや火花が発生する場合は吸気口キャップ(別売)を必ずろ過材に取り付けてご使用ください。
スパッタや火花などの侵入によりろ過材を破損するおそれがあります。

△注意

- 環境温度が5℃から40℃の範囲で使用してください。
電池の劣化や、誤作動の原因となります。
- 本製品は精密な電子部品を内蔵しています。20℃未満の環境に保管等されていた場合、結露によりセンサーが作動しない可能性があります。ご使用30分前には20～30℃の環境下に移し、結露の発生しない状態を確認してからお使いください。
バッテリーケースの電源をONにしても、電動ファンが正しく動作しない場合があります。
- 製品専用の電池やバッテリーケース以外は使用しないでください。
所定の性能を発揮できない場合があります。また、電池から液漏れ、発熱などの故障の原因になります。
- 電源コードのコネクタに物を差し込んだりしないでください。
故障の原因となるおそれがあります。
- 使用中にろ過材の吸気口をふさがないようにしてください。
電動ファンに負荷がかかり発熱、故障する原因となります。
- マスク内部やバッテリーケース内部に水等の液体が浸入する場所や湿度が高くなる状態では使用しないでください。
ファンユニット内やバッテリーケース内に液体が浸入し、回路がショートするおそれがあります。液体を浴びる環境下で使用する場合は、タイベック等の防護服の中にバッテリーケースを装着する場合は、バッテリーケース用防滴カバー(BL-700HA付属品)を使用してください。
- 警報がなくても送風量の低下を感じた場合は安全な場所に退避し、各部の点検及びセンサーの清掃を行って、十分な送風量が確認できてから作業に入ってください。
- 溶接作業、研磨作業の際は粉じん及び火花が発生しますので、溶接面を併用してください。
- 本製品を使用しない場合は、必ず、電源をOFFしておいてください。
本製品の耐久性が著しく短くなる場合があります。
- 糸綿除去作業等で保護衣を着用しテーピングする場合は、大きなサイズの保護衣を選択してください。
首周りに余裕がない場合、作業中にマスクが引っ張られしめひもが緩むおそれがあります。
- 糸綿除去作業等で粉じん量が多い場合は、ファンユニット全体とろ過材取付け用ラッチ部分にファンユニットカバーをかぶせてください。
ラッチ部分より粉じんや飛散防止剤が入り込むおそれがあります。
(作業終了後は、ファンユニットカバーに付着した粉じんを専用の掃除機でよく吸い取ってください。また1日1枚を毎日に新しいファンユニットカバーに交換してください。)
- 面体内に粉じんや異物、水等が入り込まないよう、以下のような取扱いはしないでください。
 - ・作業中に面体ははずして首などにさげる。
 - ・粉じんや異物等の存在する場所で、マスクの装着や取りはずしを行う。
 - ・本製品を粉じんや異物等が存在する場所に保管する。上記などの取扱いによって、面体内に入り込んだ粉じんや異物、水等がモーター部や電気系統部分に侵入し、故障の原因となります。また、面体内に入り込んだ粉じんや異物を吸収し、身体に異常をきたすおそれがあります。
- 濡れた手でスイッチ、電池の出し入れ、コネクタの接続を行わないでください。
水分の付着による故障、感電の原因となります。
- 破裂等の原因となりますので、火中への投入はしないでください。
- 水中への投入はしないでください。
- 他の機器への転用など、本製品の使用目的以外の用途では使用しないでください。
動作及び安全の保証はできません。

3. マスクの取りはずしかた

- (1) 必ず安全区域内(清浄空気のある場所)に戻ってから、しめひもを緩めてマスクをはずしてください。
- (2) バッテリーケースの電源スイッチをOFFにして、空気を止めてください。
- (3) 電源コードのコネクタをはずしてください。
- (4) ご使用の後、すぐに<保守管理について(12～15ページ)>に従って、お手入れや部品交換、保管を行ってください。

保守管理について

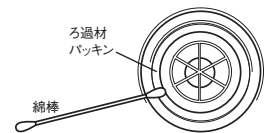
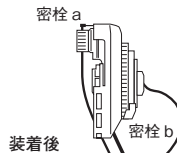
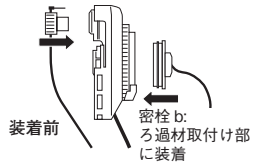
1. お手入れのしかた (必ずマスク使用直後に、有害物質などのない安全な場所でお手入れを行ってください。)

△注意

- 必ずろ過材をはずしてからお手入れを行ってください。
- お手入れ後は水分の付着がないように完全に乾燥させてください。

- ①付着した汚れや水分は、乾いた布または水で軽く湿らせた布などでキズをつけないように拭き取ってください。
- ②面体部とファンユニット部をはずしてお手入れする場合は、<ファンユニット部の取りはずし>(8ページ)に従って面体部からファンユニットを取りはずしてください。
- ③面体部は、汚れの著しい場合、ファンユニット部を取りはずした後、ぬるま湯で薄めた中性洗剤でキズが付かないように洗ってください。特に排気弁座、ゴム弁には注意してください。なお、中性洗剤は完全にすすぎ落としてください。洗った後は水分をよく拭き取り、十分に陰干ししてからご使用ください。
- ④ファンユニット部は、油分や粉じんなどの異物がある場合、センサー部にキズをつけないように完全に拭き取ってください。汚れの著しい場合は、専用のメンテナンス用密栓 A型を吸気口及びろ過材取付け部に確実に装着 (ろ過材の取付け 8ページ参照) してから、センサー部にキズをつけないように汚れを流水で洗い流してください。洗浄後は十分に水分を拭き取ってからメンテナンス用密栓を取りはずしてください。またメンテナンス用密栓を取りはずす時に水滴等が内部に流れ込まないように注意してください。
- ⑤バッテリーケースに油分や粉じんなどの異物があるときは、完全に拭き取ってください。
- ⑥ろ過材パックン部に付着した汚れは、乾燥した布または水で軽く湿らせた綿棒等、先端が柔らかく細いものを用いて、キズをつけないように拭き取ってください。
※ろ過材は、(3.部品の交換のしかた)の「ろ過材」の項目(13ページ)に従ってください。
※ろ過材パックンは、(3.部品の交換のしかた)の「ろ過材パックン」の項目(14ページ)に従ってください。
- ⑦排気弁や排気弁座、排気弁カバーに付着した粉じんや汚れ等も必ず清掃してください。清掃する場合、ぬるま湯または中性洗剤を用いて布などできれいにしてください。センサーの作動に影響を及ぼし、ファンが作動しないおそれがあります。

密栓 a: 吸気口に装着



△警告

- 下記の行為はろ過材の変形、破損及び性能劣化の原因となりますので絶対に行わないでください。
 - ・ろ過材に付着した粉じんを除去するために強くたたくなど、必要以上の力を加える。
 - ・付着した粉じんをコンプレッサなどの圧縮空気で吹き飛ばす、または掃除機などで吸引する。
 - ・ろ過材を水洗いする。
- アスベスト(石綿)、ヒ素、クロム等の有害性が高い粉じんに対して使用したろ過材は再使用しないでください。(1回使用ごとに廃棄してください。)
- 弁座及び排気弁はキズをつけないようにしてください。
ご使用時に、面体内に粉じんなどが漏れ込むおそれがあります。
- センサー部はキズをつけないようにしてください。
ファンが誤作動するおそれがあります。
- 伝声器内部を傷つけないようにしてください。
伝声器が破損し、粉じんが漏れ込むおそれがあります。
- 使用済みのろ過材は、付着した粉じんが再飛散ないように袋などに密封して適切な廃棄処理をしてください。

△注意

- 本製品は精密な電子部品を内蔵しています。以下の行為は故障、破損の原因となりますので絶対におやめください。
 - ・改造や交換可能箇所以外の分解。
 - ・落とすなど強い衝撃を与える。
 - ・水中に浸したり、水等のかかる場所での使用及び水等による洗浄や水分が付着したままでの保管。
 - ・装着したままシャワー(水)でマスクを洗浄する。
- 必ずメンテナンス用密栓を装着して流水で洗浄してください。
- ファンユニット部はメンテナンス用密栓を装着した場合でも、バケツ等への浸漬は絶対に行わないでください。ファンユニット内部へ水が入り込んだ場合、モーターやセンサーが壊れて動かなくなります。
- 電源コードのコネクタ接続部分(金属部分)に水分が残ったまま使用しないでください。
ショートや接触不良の原因となり使用中にファンが止まるおそれがあります。ファンユニット部の洗浄後は、水分を完全に拭き取り、濡れていない事を確認してから使用してください。
- 石綿除去作業で使用した場合に、付着した粉じんを流水で洗浄する際は、洗浄後の水を排水ろ過装置またはウエスで拭き取り等の処置をしてください。
- 接顔部は常に清潔にしてください。
汚れがある場合は、肌荒れ、かぶれの原因となります。
- シンナーなどの有機溶剤で汚れを拭かないでください。
ゴム部品は劣化し、アイピースやファンユニット部などのプラスチック部品は白濁、破損するおそれがあります。

保守管理について

2. 電池の充電のしかた

※充電器は屋内使用専用です。詳しくは充電器及び充電台と同封の取扱説明書を参照してください。

充電台L20の充電には専用の充電器L20用をご使用ください。

- ・初めてのご使用や長期間使用していない場合は、必ず充電してからご使用ください。
- ・電池の使用時間が著しく低下したときに電池の寿命です。新しい電池とお取替えください。

①充電台・ACアダプタ・電源コードを接続させ、プラグをコンセントに差し込んでください。

②充電台を▲の向きに確実に充電台に挿入してください。充電中は充電表示ランプ(赤色)が点灯します。

③充電表示ランプが緑色に点灯したら、充電が完了です。プラグをコンセントから抜き、充電台を充電台からはずしてください。

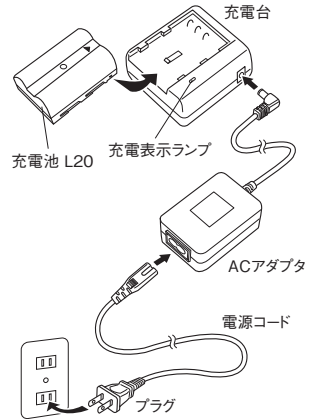
●充電表示ランプ

- 消灯……………充電台未装てん時及びACアダプタ異常時
- 赤色点灯……充電時
- 緑色点灯……充電終了時
- 赤色点滅……充電台異常時

充電できないときは・・・

過放電や保護回路の作動により、上記方法で充電を開始しないことがあります。

その場合は、一度充電台からACアダプタを抜き、充電台に充電台に挿入してから再度ACアダプタを充電台に接続してください。この動作を充電が開始するまで複数回繰り返します。



⚠危険

●破裂・発火・感電・故障の原因となりますので、次の行為は絶対に行わないでください。

- ・充電器を濡らしたりすること。
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差しすること。
- ・接点部に金属類を差し込むこと。
- ・専用充電器以外の充電器を使用して、専用電池を充電すること。
- ・専用充電器を使用して、専用電池以外の電池を充電すること。
- ・分解・改造をすること。
- ・雷が鳴っているときに充電すること。
- ・使用温度範囲(5～40℃)を超える場所で充電したり、直射日光のあたる場所や熱源がある場所で充電したりすること。

⚠警告

●発火・感電・ショート・故障・電池劣化の原因となりますので、次の行為は絶対に行わないでください。

- ・水やその他の液体や異物を充電器内部に入れること。
- ・コンセントや配線器具の定格を超える使い方。
- ・電源プラグを破損すること。
- ・電源プラグを根元まで差し込まずに充電すること。
- ・ほこりや砂、水滴などがかかる場所や湿度の影響を受ける場所での充電。
- ・充電済み電池の再充電

●発火・感電・ショート・故障を防ぐため、電源プラグのほこり等は使用前点検や使用後のお手入れの際に、定期的を確認して取り除いてください。

◎充電中に発熱や煙、異臭などの異常が発生した場合は、直ちにプラグを抜いて使用を中止して、新品と交換してください。

◎充電時や電池取扱いにあたっては、専用充電器及び専用電池に付属している取扱説明書を良くお読みになり、正しくご使用ください。

3. 部品の交換のしかた (交換用部品は、必ず専用の純正部品をご使用ください。)

ろ過材

●交換の時期

以下のいずれかの状態になった時は、ろ過材を新しいものと交換してください。

◎警報ランプが早い点滅をした場合

◎ろ過材が破損、変形、穴があいた場合

◎粉じんの堆積による目詰まりが原因になって送風量が低下した場合

◎ろ過材が著しく汚れた場合

●ろ過材の交換手順

＜ろ過材の取付け(交換)(8ページ)を参照してください。＞

保守管理について

吸気弁・排気弁・ろ過材パッキン・ダクトパッキン

●交換の時期

ひび割れや亀裂、変形、キズなどの破損、ゴムの劣化によるべとつきなどがある場合は、新しい吸気弁や排気弁と交換してください。

●吸気弁の交換手順

① 面体内部についている吸気弁を隔障を折りまげて吸気弁芯より取りはずしてください。(図1)

② 新しい吸気弁を取り付ける際は、隔障を折りまげて吸気弁の穴を少し広げながら、吸気弁芯に確実に取り付けてください。(図2)

※隔障吸気弁は、面体(隔障)の内側から交換します。(図3)

●排気弁の交換手順

① ファンユニット部をはずしてください。(8ページ参照)

② 面口部の排気弁を排気弁座から取りはずしてください。

③ 新しい排気弁を取り付ける際は、弁芯を排気弁座の中央の長穴に通してください。排気弁の中心部を上から押して弁芯の凸部が排気弁座の裏側に出るまで確実に押し込んで取り付けてください。(図4)

④ 排気弁が確実に取り付けられていることを確認し、ファンユニット部を装着してください。

●ろ過材パッキンの交換手順

① ワンタッチリングを左回転させ、ファンユニット部からはずしてください。(図5)

② ろ過材パッキンをはずしてください。

③ 新しいろ過材パッキンの凹部をファンユニット部のろ過材パッキン装填部の凸部に入れながら装着してください。

④ ろ過材パッキンの表面を押し完全に装着していることを確認してください。

⑤ ワンタッチリングを右回転させ、リングの▼マークとファンユニット部の▼マークが一致する位置まで回してください。

●ダクトパッキンの交換手順 (6ヶ月に1度、必ず交換)

① ファンユニット部をはずしてください。

② 吸気口の外側にはめ込んであるダクトパッキンを、竹ぐし等を用いてプラスチック部分に傷を付けないよう注意しながら持ち上げて、はずしてください。(図7)

③ 新しいダクトパッキンの凹部と吸気口上部の凸部が合うようにはめ込んでください。

④ ダクトパッキンが確実に取り付けられていることを確認し、ファンユニット部を装着してください。

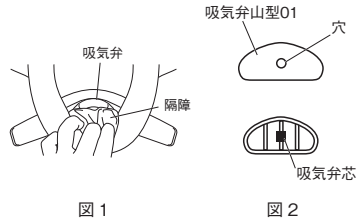


図1

図2

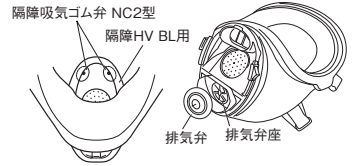


図3

図4

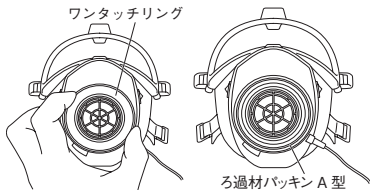


図5

図6



図7

△注意

●排気弁は、付属の排気弁と毎日入替えてください。はずした排気弁は必ず清掃して保管してください。排気弁が汚れていると、ファンが回り放しになり呼吸に追従しなくなります。

△警告

●ろ過材交換や部品交換の際は、有害物質の発生していない安全な場所で行ってください。
●ろ過材交換や部品交換などで各部を取りはずする場合は、あらかじめ各部へ付着した粉じんが飛散することのないよう、適切な清掃等を必ず行ってください。<お手入れのしかた(12ページ)>に従って行ってください。飛散した粉じんが面口部の吸気口部や、面体内に入り込み、吸入してしまいます。

しめひも

●交換の時期

以下のいずれかの状態になったときは、新しい部品と交換してください。
尾錠が破損した場合は面体の交換が必要です。

○著しい汚れ、変形、ひび割れ、亀裂などの破損、ゴムの劣化によるべとつきがある場合

○しめひもに十分な弾力がない場合

●交換の手順

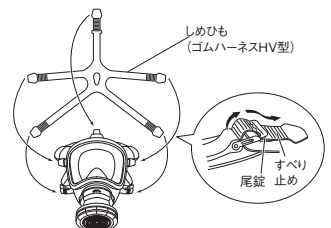
① しめひもを尾錠からそれぞれはずしてください。

② 新しいしめひもを取り付ける際は、ひものすべり止めの部分を内側にして尾錠に通してください。

図を参照してすべり止めの部分が上側に出るように尾錠に通してください。

③ 5ヶ所とも同様に取り付けてください。

※しめひもの向き、ねじれにご注意ください。



保守管理について

4. 保管のしかた

保管する前に

<使用前点検 (5～7ページ)><保守管理について (12～15ページ)>を参照し、本製品が正常な状態であることを確認・整備してください。

保管時または長時間ご使用にならない場合はバッテリーケースから電池を取りはずし、電源コードのコネクタをはずし、袋などに入れて内部にほこり等が入らないようにしてください。(長期保管をする場合の電池は、電池の取扱説明書に従って保管してください。)

保管場所

お手入れ後は、温度差の激しい場所や湿度の高い場所は避け、積み重ねなどにより、面体、しめひも等について亀裂、変形などの異常を生じないように、乾燥した状態で保管してください。また、保管時は直射日光の当たらない場所に専用の保管場所を設け、保管状況が容易に確認できるようにしてください。

警告

- 粉じん環境下でマスクの保管を行わないでください。
マスクに付着した粉じんを吸入し、身体に異常をきたすおそれがあります。

注意

- 面体内に粉じんや異物等が入り込まないように、本製品を粉じんや異物等が存在する場所に保管しないでください。
面体内に入り込んだ粉じんや異物等がモーター部や電気系統部分に侵入し、故障の原因となります。
- 保管中は直射日光の当たる場所や高温、多湿の場所を避けてください。
故障、ゴム部品の劣化等の原因となります。
- ご使用になった後や保管時はマスク内への汚れの侵入を防ぐために、必ずご使用になったろ過材または新品のろ過材を取り付けた状態で、清潔な場所に保管してください。(ただしろ過材から付着した粉じんが再飛散しないことを確認してください。)

故障かな?と思ったら

修理や部品交換する前にもう一度ご確認ください。

症 状	可能性のある原因	対 策
ファンが回らない。 (電源がオンにならない)	ファンユニットに異物が入っている。	ろ過材を取りはずし、ファンユニットの吸気口から異物が見え、簡単に取れる状態であれば取り除いてください。 ろ過材を取りはずし、吸気口を下に向けた状態で本体を軽く振って異物を取り除いてください。
	電池を入れ忘れている。	電池を入れてください。
	電圧が低下している。	電池を充電してください。
ファンが回ってすぐ止まる。 (装着時に電源がオンになって、すぐにオフになる)	電池が完全に放電している。	電池を充電してください。
	電圧が低下している。	電池を充電してください。
	排気弁に破損やべとつきがあるなど劣化している。	14ページ「排気弁の交換手順」に従い、排気弁を交換してください。
呼吸に追従しない。 (ブレスリンクしない)	センサー監視窓に汚れが付着している。	12ページ「お手入れのしかた」②(4)に従い、清掃してください。
	ろ過材が極度に目詰まりしている。	8ページ「ろ過材の取付け(取りはずし)」に従い、ろ過材を交換してください。
電池が充電できない。	充電器と電池の接続端子に異物が付着している。	端子を清掃してください。
	電池が寿命を迎えている。	新しい電池を使用してください。
	電池または充電器が故障している。	新しい電池を使用してください。それでも充電できない場合は充電器が故障している可能性がありますので、販売店にお問合せください。
有害物質が面体の中に入ってくる。	ろ過材に破損や穴あきがある。	8ページ「ろ過材の取付け(取りはずし)」に従い、ろ過材を交換してください。
	ろ過材が正しく取り付けられていない。	ろ過材を正しく取り付けてください。
	顔と面体がフィットしていない。	正しくマスクを装着してください。

※それでも症状が改善できないときは、お買い上げいただいた販売店または弊社までご相談ください。

交換用部品について

※詳しくは、お買いあげの販売店またはお近くの弊社営業所までお問い合わせください。
また、下記以外の部品の交換については修理（有償）になります。

部品名 (必ず専用のものをご使用ください。)	注文名
ろ過材 BL-700U の場合	アルファリングフィルタ BRD-8U 型
BL-700HA の場合	アルファリングフィルタ BRD-7 型
面体部	面体 BL-700 用
ファンユニット部 BL-700U の場合	ファンユニット BL-700U-03 用
BL-700HA の場合	ファンユニット BL-700HA-03 用
電池	充電電池 L20
バッテリーケース	バッテリーケース BL 用 (カバー付)
排気弁	排気弁 T-8K 型
吸気弁	吸気弁 山型 O1
しめむも	ゴムハーネス HV 型用
隔障 (ノーズカップ)	隔障 HV BL 用
隔障吸気弁	吸気ゴム弁 NC2 型
バッテリーケースカバー BL-700U の場合	バッテリーケースカバー BL 用
BL-700HA の場合	バッテリーケース防滴カバー BL 用
充電器	充電器 L20 用
ろ過材パッキン	ろ過材パッキン A 型
ワンタッチリング	フィルタホルダー BL-700H 用
ダクトパッキン	ダクトパッキン A 型
メンテナンス用密栓	メンテナンス用密栓 A 型
ファンユニットカバー BL-700HA のみ	ファンユニットカバー BL 用
吸湿スポンジ BL-700HA のみ	吸湿スポンジ E 型 (10 枚入)

吸湿スポンジ E 型

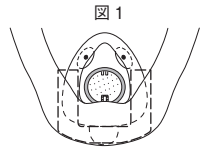
面体内部に挿入して使用する使い捨てタイプの吸湿材です。

●交換の時期

- 著しく汚れた場合
- 著しく破損した場合
- 作業の終了時など

●交換の手順

- ①吸湿スポンジを隔障と面体部のあいだに指で押し入れてください。
図1 スポンジはあらかじめ湿らせておりますが、乾いている場合は一度水に浸し、2～3回絞って柔らかくしてからご使用ください。



△注意

- 吸気弁や排気弁の作動に支障がないよう注意して入れてください。
- 吸湿スポンジは必ず使い捨てて、面体内部は常に清潔にしてください。

オプション (別売) 品について

部品名	注文名
吸気口キャップ	吸気口キャップB型 (2個入)
フィットテスター	フィットテスター-BL-A型
視野カバー	視野カバー-HV用 (5枚入り)
メガネ	ハイスコープV型用メガネ
プレフィルター	プレフィルター B型 (10枚入)
BL-700HA 専用 (石綿除去作業時には作業環境により、必要に応じて取り付けてご使用ください。)	
石綿除去作業時の飛散防止剤によるろ過材の目詰まりを防ぐプレフィルター	プレフィルター A型 (10枚入)
プレフィルター A型をろ過材に取り付け、飛沫を防ぐ吸気口キャップ	吸気口キャップ A型 (2個一組)

興研株式会社

製品に関するお問い合わせは、本社または最寄りの営業所までお願い致します。

本社 東京都千代田区四番町7番地 Tel.03(5276)1911(大代表)

営業所 北海道 Tel.011(832)3911 北 陸 Tel.076(298)1010
 仙 台 Tel.022(374)0420 大 阪 Tel.06(6326)9223
 新 潟 Tel.025(255)0121 神 戸 Tel.078(511)0414
 千 葉 Tel.043(293)0411 倉 敷 Tel.086(423)2321
 熊 谷 Tel.048(524)2928 九 州 Tel.082(511)1281
 東 京 Tel.03(5276)8063 四 国 Tel.0897(34)8927
 横 浜 Tel.045(242)6566 長 崎 Tel.095(844)8406
 名古屋 Tel.052(753)7872

お買い上げ日 年 月 日

販売店名

※改良などのため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

2021年10月現在
A21024・NS